



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信



平成28年6月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.161

～緑が深まってきた元気な高千穂郷～

ヒルクライム高千穂天岩戸大会 が行われました



関東や関西など大都市圏からも参加、高千穂をロード用自転車が駆け巡りました。

5月15日(日)に、高千穂町総合公園をスタート地点とする自転車ロードレース大会が開催され、九州各県だけでなく、遠くは千葉や大阪など全国から計287名が参加しました。

この大会の特徴は、なんといっても山坂を頂上まで駆け上がるところで、大会テーマにもなっていますが、まさに「天走行輪」のコースです。ゴール地点では、息を切らし全力でレースに臨んだ出場者の姿がありました。

レース後は、地域の中学生による演奏会やカレーライスのふるまいなどが行われ、出場者は疲れた身体を癒やしていました。本当にお疲れ様でした。



このレースの舞台となった高千穂町は、一部に地震の影響も残っていますが、安全を確認されたところから随時開放され、高千穂峡をはじめとする管内の観光名所では、5月の陽気の中で、ゆっくりとした時間を楽しむ観光客の姿や、ツアーバスも見られるようになりました。



最年少は8歳、最高齢は80歳。
みなさん、とてもお元気です。



5月の週末に真名井の滝(高千穂峡)を楽しむボートの乗客

新緑が夏に向けて少しずつ深まるこの時期に高千穂峡では多くのボートが浮かび、真名井の滝の鑑賞をしたり、食事処ではそうめん流しを堪能する姿も見られました。

管内は十分に観光が楽しめる場所があります。ぜひ高千穂にお越し頂き、パワースポットなどで日頃の疲れを回復しに来てください!

第15回宮崎県障がい者スポーツ大会が行われました



5月8日（日）に、宮崎県総合運動公園（宮崎市）で第15回宮崎県障がい者スポーツ大会が開催されました。今大会では、陸上競技や水泳、フライングディスクなど10競技に約1,600名が参加し、家族や支援者等の応援を受けながら全力でプレーされていました。



◆グランドゴルフ競技の様子

競技種目	氏名	競技種目	氏名
陸上競技	100m 岩本 喜美さん (延岡しろやま高千穂校)	フライングディスク アキュラシー 5m	大賀 壮流さん (延岡しろやま高千穂校)
	800m 杉本 道徳さん (日之影町)		中川 綱晶さん (日之影町)
	ソフトボール 投げ 佐藤 和子さん (高千穂町)		甲斐 祐香さん (高千穂町)
	押方 真衣さん (高千穂町)		米良 恵梨子さん (日之影町)
	飯干 順子さん (高千穂町)		新名 いつ代さん (日之影町)
ジャベリック スロー 立脇 輝敏さん (日之影町)	甲斐 節子さん (五ヶ瀬町)	ディスタンス	古本 充孝さん (高千穂町)
アーチェリー 津隈 幸一さん (日之影町)			



◆陸上競技の様子

西臼杵地区からは、陸上競技やグランドゴルフに52名が参加し、みなさん日頃の練習の成果を発揮され、多くの出場者が入賞しました。それぞれの競技で1位を受賞された方を上の表にてご紹介します。

◆フライングディスクで狙いを定める競技者の様子（右）



「全国茶品評会」出品茶の手摘みを実施



昨年度静岡県で開催された全国茶品評会（釜炒り茶の部）では、西臼杵地区が農林水産大臣賞と産地賞を2連覇し、全国一の釜炒り茶産地であることを広くアピールしました。

今年も、昨年に引き続き上位入賞を目指すため、出品茶の品質向上が図られる「手摘み」作業を、生産者や地域の皆さん、町役場やJA高千穂、西臼杵支庁など関係機関・団体の職員総勢100名以上が参加し、五ヶ瀬町と高千穂町の生産者2名の茶園で行いました。（右の写真は、高千穂町の茶園でお茶を摘む作業に取り組んでいる様子）



◆1芯3葉を目安に新芽を摘みました

摘んだ茶葉は当日中に加工を行い、各工程でお茶の状態に合わせた細かい機械設定や温度管理を行った結果、大変すばらしい出来栄となりました。なお、今年の全国茶品評会は、三重県で8月に開催される予定です。



宮崎県地域づくり顕彰で深角団七踊り保存会が表彰を受けました

5月9日（月）に、県地域づくり顕彰の表彰式が県庁講堂で行われました。今年度は、日之影町から「深角団七踊り保存会」が優秀賞を受賞しました。この賞は、特に地域振興に貢献した個人や団体に対する賞で、今年は4団体が選ばれました。

深角地区では、団七踊りが約130年も受け継がれており、地元の保存会として「深角団七祭り」の開催や、地域の小中学校で団七踊りを指導する活動が行われています。



◆地域づくり顕彰の受賞を受けた保存会のみなさん

今回の受賞は、保存会の日頃の活動が評価された結果です。

保存会の皆様、本当におめでとうございます。



◆130年受け継がれる団七踊りの様子

五ヶ瀬中学校で鳥獣害対策にかかる講義が行われました



5月12日（木）に、身近な地域の課題について考える活動を通し、郷土の町づくりへの関心を高め、地域社会に貢献する態度を養うことをねらいとした「五ヶ瀬デザインプロジェクト」が五ヶ瀬中学校で3年生のキャリア教育の一環として実施されました。西臼杵支庁からは、「五ヶ瀬町の鳥獣被害の現状と対策」の講義を行いました。イノシシやシカによる農作物等の被害が多く、その対策を個人だけでなく、集落みんなで実施することの重要性を認識してもらいました。



◆講義が行われる様子（五ヶ瀬中）



「農ポリ演奏会」が高千穂町で行われました



5月24日（火）に高千穂町の花き生産農家である「濱山幸波さんはまやま こなみのビニールハウス」にて、シンガーソングライターの「逸枝（いつえ）さん」による弾き語りライブが行われました。

当日は約70名が参加し、「6次産業」と銘打ち「農と歌と食のコラボ」をテーマとして、地元の食材でパンを作っている「ういぱん uipan」と、岩戸にある「むすびカフェ千人の蔵」の2店舗が出店されました。参加者は、居心地の良いスペースの中で楽しいひとときを過ごしました。



◆イベントの会場となった「農ポリ」の当日の様子



★ステージを楽しむ逸枝さん（左）と濱山さん（右）

農ポリとは、農業用ポリエチレンフィルムの略で、ビニールハウスなどに用いられる農業資材です♪

知って感心 あなたも旅人 ～ 高千穂郷の旬感コラム ～

今回から連載を始める
新企画の記念すべき
第1回目の特集記事!



5月14日(土)、高千穂町の若手有志の集まりである高千穂アカデミー主催の「高千穂郷食べる通信」の創刊祭りが行われました。会場の神楽の館(高千穂町岩戸)には、食べる通信の発行に興味を持つ多くの方が集まり、「発行に至った経緯」や「具体的な内容」について、メンバーの熱い気持ちがかもったプレゼンの後、それぞれの地域への思いや地域の活性化について意見交換を行い、交流を深めました。



初回のテーマは
「高千穂牛」を取り上げます!!

食べる通信は、毎号食材のおまけが付いた情報誌ですが、編集長の板倉哲男さんによれば、「高千穂郷が好きな人を増やす」ことを主眼に、生産者と読者の新たなつながりを生みだし、波及的に世界農業遺産にも登録された高千穂郷・椎葉山の地域活性化を狙う新しい取組です。

発行は年4回(予定)で、地域のいろいろなストーリーを学べるほか、読者と生産者がSNSを通して直接交流を深めて、実際に農業体験や現地の見学などにも繋げていくとのこと。

さらに、高千穂郷に魅力を感じて移住した人にもスポットをあてた記事が作成される予定で、高千穂郷の持つ豊かさや美味しい食材、豊かな地域に育まれた人の良さについて知ることができます。ぜひ食べる通信を通して「高千穂郷・椎葉山」の魅力を感じませんか。



◆創刊祭り当日の会場の様子

高千穂郷食べる通信
Takachiho-go Taberu Journal

< 購読料 > 3,500円(送料・税込み)
< 発行時期 > 年4回(初回は9月の発行見込み)

◆内容のお問い合わせは「高千穂アカデミー」まで
< WEB > <http://taberu.me/takachihogo/>
< FAX番号 > 0982-82-2453



特定外来生物「オオキンケイギク」にご用心!



「オオキンケイギク」は北米原産の外来植物で、強健で鮮やかな黄色い花を咲かせるため、観賞用等で輸入されていましたが、繁殖力が強く、生態系等に被害を及ぼすとして、2006年に「特定外来生物」に指定されました。法律により栽培・保管・運搬などが原則禁止されています。毎年、県では沿道に生えているオオキンケイギクの駆除を行っています。皆様も庭などで生えているのを見かけたら駆除しましょう。

処理する際は、根から引き抜いたものを2～3日天日にさらし、枯死させた上で処分してください。近年、管内での繁茂も多数確認されています。ご協力をお願いします。



(参考)
オオキンケイギクの図

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

西臼杵支庁

検索



Facebookページ西臼杵支庁「ウキウキ!好き好き!ニシウスキ!」更新中!

